

《果 樹》

| | 植物名等 | 分類 | 内容による分類 | 内容 | 回答 |
|----|------|----|---------|---|---|
| 1 | アボカド | 果樹 | 利用法・特性 | 種子を植えて5～6年経過しているが、実はいつ頃なるか。 | 接ぎ木の場合は3～4年で実をつけるが、実生(種子から発芽させて新しい苗を得ること)の場合は6年位経過して実をつける。肥料を施したり鉢替えしたりするなどの管理が必要。 |
| 2 | アマナツ | 果樹 | 診断 | いつ頃から収穫ができるか。 | 年により多少時期が変わるが、普通は3～4月中頃には収穫できる。 |
| 3 | アンズ | 果樹 | 剪定 | 剪定方法と切る時期は | 木が若いうちはあまり切らずに整枝を主に考えたほうがよい。時期は通常は落葉期で、整枝は7月に軽く行うようにする。 |
| 4 | アンズ | 果樹 | 育て方 | アンズの種を拾ってきたが、まいて育てれば食べられるような実になるか。 | 実生繁殖した果樹は、通常親と同じものはできない。実生したものに接ぎ木をするのがよい。 |
| 5 | アンズ | 果樹 | 剪定 | 管理して4年。徒長枝(不調和に伸びた長い枝)が多く出ているが、切った方が良いか。切り方は? | 骨格が出来ていれば徒長枝は根元から採ること。途中で切ってはいけない。短い枝は残すこと。残して伸ばしたい枝は、枝先を1/3位切除する。 |
| 6 | ウメ | 果樹 | 剪定 | 30年以上の木で、あまり実がつかないので、枝の処理をしたい。剪定方法は? | 落葉期に思いきり枝を切り、全体の形を作る。その場合、上向きの枝と下向きの枝をまず切り、又、影になっている細い枝も元から切り落とす。 |
| 7 | ウメ | 果樹 | 病虫害(防除) | 実にヤニが出る原因と防除について知りたい。 | ヤニ症は生理的なもので、ハウソ欠乏とも言われている。微量要素肥料を施してみる。 |
| 8 | ウメ | 果樹 | 診断 | 実を収穫したが、実にヤニがついていた。そのまま使っても良いか。 | 実をきれいに洗ってから、一つ一つ水を切って利用する。 |
| 9 | ウメ | 果樹 | 診断 | 徒長枝の先を剪除したが、先の方は分枝が出るが、中間から下の方は枝が出ない。なぜか。 | 日当たりが悪いせいなので、適当に間引きして日当たりを良くすれば脇芽は出てくる。 |
| 10 | ウメ | 果樹 | 診断 | 花が少なく、実がならない。 | 1. 花が少ないのは、枝の切り方に問題がある。花を見るウメは12月に枝を整える剪定をし、花後に切り戻し剪定を行う。剪定の基本を理解して行なうこと。 2. 花が咲いても着果しない場合は、花粉の不足か着果しにくい品種によるもの。その場合は交配樹が必要。 3. 一般的には隣家の梅の木より花粉をもらって(虫媒・風媒)着果することが多い。 |

| | | | | | |
|----|------|----|---------|---|---|
| 11 | ウメ | 果樹 | 剪定 | 管理して4年。徒長枝が多く出ているが、切った方が良いか。また、切り方は？ | 骨格が出来ていれば徒長枝は根元から採ること。途中で切ってはいけない。短い枝は残すこと。残して伸ばしたい枝は、枝先を1/3位切除する。 |
| 12 | ウメ | 果樹 | 育て方 | 紅梅と白梅を植えている。紅梅は実がよくなるが、白梅はほとんどつかないので接ぎ木をしたい。白梅は昨年9月頃、葉が一斉に落葉し、その後また葉がついた。剪定は6月に実を収穫した後に行っている。 | 接ぎ木の一般的な方法は、1～2月に穂木を採り冷蔵しておき、3月頃接木する。6～7月は芽接木、11月は取接木がある。方法は柿同様。皮が薄いので丁寧に行う。開花しないのは剪定の仕方のせい。6月は間引き位で、11～12月が適期。落葉の原因は根の病気が第一に考えられる。 |
| 13 | オリーブ | 果樹 | 育て方 | 鉢植えの剪定、肥料、切りつめの方法 | 間引き剪定と切り戻し剪定をする。重なる枝と徒長枝を整理し、上に伸びる枝を切り戻す。花芽分化は12～1月。 |
| 14 | オレンジ | 果樹 | 病虫害(防除) | ミカンハモグリガの防除法を知りたい。 | 7～8月にオルトラン、アクテリック剤を散布する。 |
| 15 | カキ | 果樹 | 病虫害(防除) | カメムシの防除法を知りたい。 | 薬剤散布は7月上旬、8月中旬が適期。4～10月に発生するので、この間にカメムシを見れば殺虫剤を散布する。 |
| 16 | カキ | 果樹 | 剪定 | 甘柿が大きくなりすぎたので小さくしたいが、どうすればよいか。 | 落葉期に徐々に切っていくようにする。この場合フトコロ枝と枯れ枝を優先的に切るようにする。 |
| 17 | カキ | 果樹 | 診断 | 鉢植えの豆柿の実が大きくなりすぎて落ちてしまうのはなぜか。 | 雄木がないためと思われる。 |
| 18 | カキ | 果樹 | 育て方 | 柿の摘蕾(開花前に蕾を摘む作業)はどのように行うのか。 | 1. 柿の摘蕾は、摘果より効果が高く、作業能率も上がるので行われる。枝1本に1個、葉5枚以下の蕾は取る。 |
| 19 | カキ | 果樹 | 病虫害(防除) | ヘタムシ、ハダニ、カキクダアザミウマ、カメムシの薬剤防除法について | ヘタムシ:6月中旬、パダン水溶剤(劇薬) 1500倍 ハダニ:6月～9月 オサダン、ケルセン 1000～2000倍 カキクダアザミウマ:5月上旬から6月下旬 スミチオン 1000倍 カメムシ:7月～9月 スミチオン、スプラサイド(劇薬) 1500～1000倍 2. 柿の防除は、ヘタムシ(カキノヘタムシガ)と病気同時防除だけでよいのではないかと。6月上旬と7月中旬の2回行えばよい。 |
| 20 | カキ | 果樹 | 増やし方 | 実生の苗を育てている。美味しい柿の枝を接ぎ木したい。 | 1. 1月ごろ剪定したとき、充実した枝を選び、新聞紙を少し湿らせたもので包んで、ビニール袋2～3枚を重ねて包んで紐で縛り、冷蔵庫の野菜室に入れておく。 2. 接ぎ木の時期は3～4月がよい。台木の芽が動き出した時が着きやすい。 |
| 21 | カキ | 果樹 | 病虫害(防除) | イラガの防除について | ヒメクロイラガは6～9月に発生する。マラソン、スミソンなど殺虫剤を散布する。 |

| | | | | | |
|----|---------|----|---------|--|--|
| 22 | カキ | 果樹 | 育て方 | 播種して育てているが、今後どのようなしたら良いか。 | 果樹は種子をまいて育てても、親と同じものができる。鉛筆の太さ位になったら、品種のわかったものを接木する。(切り接ぎ、割り接ぎなど) |
| 23 | カキ | 果樹 | 病虫害(防除) | カキの実のヘタの回りに白いものが付き実が黒くなっているが、何か。またヘタムシにより落果する。スミチオン乳剤1000倍を6月上旬と8月上旬に散布した。 | 1. カキの実に付いているのはフジコナカイガラムシ。防除すればOK。 2. ヘタムシは2回防除すればほぼOK。その他に生理落果あり。 3. 基本的には剪定し、風通しと日当たりが良くなれば病虫害も少なくなる。 |
| 24 | カキ | 果樹 | 診断 | 実が赤くなって落果してしまう。どうしてか | おそらく6~7月にかけてヘタムシが多発し、落果していると思われる。(葉は黒点があるが落ちていない) 防除法・・・冬期に石灰硫黄合剤、6~8月にスミチオン乳剤の散布が必要 |
| 25 | カキ | 果樹 | 剪定 | 剪定のやり方がわからない。主幹・主枝・垂主枝とあると、垂主枝を切るのか。又、実が落ちてしまい、収穫できない。 | 1. 剪定の基本は主幹・主枝は固定し、垂主枝はその年によって変化しても良い。 2. 落果するのは殆どがヘタムシが原因。年2回(6月と8月)発生する。防除は6月上旬に1回目、8月初旬に2回目、8月10日頃に3回目を実施。 |
| 26 | カキ | 果樹 | 病虫害(防除) | ヘタや実が黒くなる。病気か。防除方法は。 | 炭疽病と思われる。他にも考えられるが、食べるのは問題ない。病気は空気伝染するので風通しをよくする。剪定が基本。ヘタムシの防除(6月・8月年2回発生)に時々殺菌剤を混ぜて散布するのが良い。 |
| 27 | カキ | 果樹 | 増やし方 | 接ぎ木の時期について | 3~4月上旬までが接ぎ木の適期。遅いほうがよくつく。今から接ぎ穂をとって、土の中又は冷蔵庫で乾燥しないよう保存するのが大切である。 |
| 28 | キウイフルーツ | 果樹 | その他 | 収穫の時期はいつ頃か。また甘くするにはどうすれば良いか。 | 一般的には10~11月になるが、収穫してから追熟させないと甘くならない(リンゴと一緒にしておくなど)。 |
| 29 | キンカン | 果樹 | 剪定 | 植えて約10年、たくさん着果した。剪定はいつ頃どのように行うか。 | 1. 剪定は3月。寒さがゆるみ出した頃が良い。 2. 基本は間引き剪定。10年経てば今の形を維持したいと思われるので、混んでいる所で伸びの良い枝を元の方から剪除する。できれば、毎年行った方が良い。 |
| 30 | キンカン | 果樹 | 利用法・特性 | キンカン酒を作りたいが、どうすれば良いか。 | 一般的には砂糖にハチミツを入れて、煮て食べることが多い。キンカン酒は、熟果を水洗いして、成分の浸出促進のため、針か楊子で数箇所刺し、酒容量の5割を入れ、氷砂糖100gを加えて漬ける。4~5ヶ月で熟成する。 |
| 31 | クコ | 果樹 | 病虫害(防除) | 葉にうどんこ病がついてしまった。どうすれば良いか。 | うどんこ病専用の農薬もあるので防除する。落葉は必ず片付けないと、新葉がでると再び発生する恐れがある。 |
| 32 | グミ | 果樹 | 病虫害(防除) | 実が初期に落ちてしまい、大きくなる。どうすれば良いか。 | 生理的な落果と思われる。受精が行なわれなかったか、樹勢が良すぎたか悪かったかによる。肥料にリン酸分のものを与えると良い。 |
| 33 | サルナシ | 果樹 | 剪定 | 実がつかない。 | 冬期剪定をして肥料、特にリン酸の多いものを使用して寒肥を施す。 |

| | | | | | |
|----|-----------|----|---------|---|--|
| 34 | スモモ | 果樹 | 病虫害(防除) | 果実に傷がつくのはどうしてか。 | 病気と思われるので、実がついたら薬剤散布を1~2回行えばある程度は防げる。(トップジンM水和剤など) |
| 35 | スモモ | 果樹 | 剪定 | スモモ(サンタローザ)を植えている。花の時期が合わず、実がならない。 | サンタローザは自家結実するので同じ花で人工受粉する。合わない場合は他の花、ウメやアンズでも良い。朝開きそうな蕾をとり、日陰で乾燥、花粉をとって、冷蔵庫に貯蔵して人工受粉する。剪定は長果枝を切り戻し剪定し、短果枝を多く出すようにする。 |
| 36 | ナツミカン | 果樹 | 病虫害(防除) | 実なりが悪い。枝先(新芽)が縮れてしまっている。病気か。 | 夏芽の先が縮れているのはハモグリガかアブラムシの害と思われる。白い模様が入っている場合はハモグリガによるもの。モスピラン水溶剤(劇薬)を散布する。スミチオンでも良い。実なりが悪いのは肥料を12月(元肥有機肥料)と4月・7月に化成肥料を追肥。冬間引き剪定をし、マシン油乳剤でカイガラムシを防除する。 |
| 37 | ナツミカン | 果樹 | その他 | 収穫時期と肥料、防除について | 1月下旬に収穫し、1ヶ月位貯蔵する。元肥として12月有機肥料を施し、追肥は4月と7月に化成を施す。防除は冬に機械油乳剤を散布する。 |
| 38 | パイナップル | 果樹 | 育て方 | パイナップルの先端を切り、地植えしたら、新葉が伸びてきた。この後どうしたら良いか。 | 1. 日本国内でパイナップルを自生させることができるのは、沖縄など温暖な地方のみ。 2. 本県で育てるなら、冬の降下霜期間のみ室内に置くことが必要。 |
| 39 | ハッサク | 果樹 | 育て方 | 大きくなりすぎ、3月頃に剪定した。太い枝からどんどん新芽がでてきた。どうしたらよいか。 花がたくさんついているが、摘果はどんな風にしたらよいか。 | 1. 枝の少ないところでは、50cmくらいの間隔で間引く。枝が多いようなら全部取って良い。 2. 摘果は、指先の大きさになってからでよい。それまで自然落果する。時期的には8月中まででよい。 |
| 40 | ハッサク | 果樹 | 病虫害(防除) | 葉にススが沢山ついているが病気か。防除法は。 | すす病。まずカイガラムシを防除する。殺虫剤をカイガラムシの幼虫期に散布して防ぐ。整枝をして日当たり風通しをよくする。 |
| 41 | パッションフルーツ | 果樹 | 育て方 | 鉢植えで実がついている。外でも大丈夫か。 | 耐寒性はあるが、できれば厳寒期に枝切りして、軒下か明るい家の中に入れて、なお良い。 |
| 42 | ヒメリンゴ | 果樹 | 育て方 | 実のつき具合が年々悪くなってきたが、その原因は何か。 | 受粉樹がないことが原因。できれば異種のリンゴを鉢植にして、開花期に周りにおくことで大分花つきがよくなると思われる。 |
| 43 | ビワ | 果樹 | 剪定 | いつ剪定したら良いか。 | ビワの剪定は9月。冬に開花するので強い剪定は花や幼果が寒害を受ける。混む所を間引くように剪定する。 |
| 44 | ブドウ | 果樹 | 病虫害(防除) | 実に黒い豆がポツポツできているが、何か。 | 黒とう病と思われる。薬剤散布を2回行なってみる。ジマンダイセン水和剤1000倍液2回位、他にベンレート水和剤2000倍液1~2回位。 |

| | | | | | |
|----|--------|----|---------|--|---|
| 45 | ブドウ | 果樹 | 剪定 | 庭に柵を作り巨峰(10年位)を植えているが、実がつかなかった。なぜか。剪定はいつが良いか。また、袋掛けは何のためにするのか。 | 1. 剪定時期は12~2月。主枝を決め、側枝を適切(50~1m間隔)に配置して母枝を得る。母枝の剪定は長枝剪定と(5~7芽)と短枝(2~3芽)があるが、庭では短枝剪定の方が良い。 2. 巨峰の実がならなかったのは、剪定が悪いためと日当たりが悪くなっているためと考えられる。 3. 袋掛けは病害虫や鳥害から実を守るため。 4. 庭では肥料はやらない。味良くするには水管理を。 |
| 46 | ブドウ | 果樹 | 育て方 | 寒さ対策は必要か。(鉢植え) | 乾燥や凍るのを防ぐために腐葉土を敷く。肥料をやり、剪定を行う。 |
| 47 | ブドウ | 果樹 | 病害虫(防除) | 黒とう病がでる。 | 咲く前に石灰硫黄合剤を散布する。実がついてから、トップジンM水和剤を散布する。 |
| 48 | ブルーベリー | 果樹 | 診断 | プランターに植えてあるが、葉が下から赤くなってきた。 | 原因ははっきりしないが、土の酸性化問題、次に水やりが多過ぎたことが考えられる。対策としては、土の酸性化対策(化学肥料とピートモス施用)と水を控えめにする事で様子を見る。 |
| 49 | ブルーベリー | 果樹 | 育て方 | 鉢植えにしてあるが、肥料はいつやるのか。 | 肥料は寒肥(2月)と実を収穫した後に施す。収穫は品種により異なるが、普通は受粉後60日前後と言われている。 |
| 50 | ブルーベリー | 果樹 | 診断 | 植えて3年になるが、実がならない。 | 畑に植えてあっても酸性土を好むので、土にピートモスをよく混ぜておいた方が良い。整枝と施肥は忘れずに行う。但し肥料はやりすぎないこと。 |
| 51 | ブルーベリー | 果樹 | 育て方 | 20cm位の鉢に植えてあるが、高さが30~50cm位になった。植替えをした方が良いか。 | 木の伸び具合と年数が目安。3~5年は大丈夫。植替えは落葉期間中に行う。 |
| 52 | ミカン | 果樹 | 育て方・植え方 | みかんの植え方・育て方を知りたい | 植穴を掘り、堆肥か腐葉土と化成肥料を混ぜあい土をして植える。支柱を立て、植穴の上に乾燥しないように腐葉土かワラを敷く。ミカンはカイガラムシがつきやすいので、スプラサイド(劇薬)やマシン油乳剤を散布して防除する。 |
| 53 | ミカン | 果樹 | 育て方 | 育て方を知りたい | 肥料は2月、5月、9月に施す。ハモグリガやカイガラムシが発生するのでカルホス(劇薬)など殺虫剤を散布する。 |
| 54 | ミカン | 果樹 | 増やし方 | 接ぎ木について | 2月頃つぎ穂をとり、冷蔵庫で保管し、4月に切りつぎ法でつぐ。 |

| | | | | | |
|----|-----|----|---------|--|---|
| 55 | ミカン | 果樹 | 育て方 | 鉢植えの育て方 | 大きめの鉢を使用し、2年に1回、赤玉土7・腐葉土3の土で植え替える(3月)。肥料は春と秋に1回ずつ与え、実がつけば6月に化成肥料を施す。水を切らさないよう管理し、夏に害虫防除を行なう。剪定は夏枝や秋枝をカットする程度。 |
| 56 | ミカン | 果樹 | 育て方 | いつ植え替えるのか。植える方法 | 通常植え替えは3月。堆肥と化成を施し、地植えしたら動かないよう固定する。アゲハチョウが卵を産むので幼虫を補殺する。カイガラムシもつき易いので殺虫剤を散布し、肥料も春秋施す。 |
| 57 | ミカン | 果樹 | 病虫害(防除) | 新芽が巻き、アリが登っている。 | 1. 新芽が巻くのはアブラムシ。アリはその分泌物を求めて登る。 2. 殺虫剤(スミチオン乳剤またはオルトラン水和剤他)を散布すること。 3. ミカンの移植も他の樹木の移植準備と同じだが、枝切りは6月には行わず、移植時に行なう。 |
| 58 | ミカン | 果樹 | 病虫害(防除) | 実がかなり落ちてしまった。どうしてか。 | 生理落果であるか、カイガラムシによる害のどちらかと思われる。殺虫剤の散布と枝の整理が必要。 |
| 59 | ミカン | 果樹 | 剪定 | 今年は実が成っていない。どうしてか | 昨年なり過ぎか。実を制限すれば毎年なる。肥料を施し、養分補給をする。剪定は間引き剪定で良い。 |
| 60 | ミカン | 果樹 | 育て方 | どのように植えたら良いか。 | 苗が植えてある鉢の最低3倍位の大きさの穴を掘り、下1/3位まで、腐葉土、化成肥料と油粕を混ぜ合わせ、その上に真土を入れて鉢植えの苗を植える。土の面は最初は高めにして、水はたっぷりやり、支柱を立てておく。 |
| 61 | ミカン | 果樹 | 育て方 | 鉢から地植えにして育てたい。どんな点に気をつけたら良いか。 | 50~60cmの穴を掘り、完熟堆肥と土をよく混合して入れ、その上に土を合土して植え、支柱を立て固定する。株元に敷わらを敷き、乾燥を防ぐ。日照りが続けば水を与える。夏はアゲハチョク・ハモグリガ等が発生するので殺虫剤を時々散布する。 |
| 62 | ミカン | 果樹 | 病虫害(防除) | ハダニの防除について | 薬剤(ニツソラン、オサダンなど)を散布する。 |
| 63 | ミカン | 果樹 | 育て方 | 管理はどのようにするか。 | 防除:ハモグリガ、ハダニなどには殺虫剤の散布。 肥料:12月(元肥)3月(追肥)7月(追肥)を行なう。 剪定:間引き剪定をする。 |
| 64 | ミカン | 果樹 | 植え方 | 苗を植えたいが、いつ植えたら良いか。 | 1. 普通の苗を植えるには、3月頃が良い。 2. ポット苗(ビニールポットに植えられた苗)なら、年間を通じていつでも植えられる。 3. 地植えの苗を掘りあげて植える場合は、秋植えより春植えの方が良い。秋植えは掘り上げにより根が切られ、復元するまでに寒さ(1~2月)にあうからである。 |
| 65 | ミカン | 果樹 | 育て方 | ミカンの種を播いたら、発芽し1m位に伸びた。早く実がつくようにするにはどうすればよいか。 | 1. カンキツ類は着花するまでに20年位の年月を要する。 2. 接木をすれば、3~5年で着果する。 3. 接木は3月頃に台木に希望の穂木を接ぐ。 |

| | | | | | |
|----|-----|----|---------|--|---|
| 66 | ミカン | 果樹 | 診断 | 実のついた苗を植えて3年位たっているが、花が咲かない。どうしてか。 | まだ木が成熟してないため。最低でも5年位かかるので、今後施肥と整枝が必要と思われる。 |
| 67 | ミカン | 果樹 | 剪定 | 剪定の時期はいつが良いか。 | ミカンは3月。剪定は込み合っている枝を間引く程度の剪定でよい。ミカンがなり過ぎれば摘果をして調整する。 |
| 68 | ミカン | 果樹 | 植え方 | すぐ植えて良いか。今年花は咲くか。 | ポットから出しそのまま植える。穴は大きく深く掘り、腐葉土を混ぜる。化学肥料はやらない方がよい。花は今年には咲かない。今年枝が伸び、夏の間十分に陽があたれば、来年6月頃花が咲く。普通は地植えして3年位は花は咲かない。 |
| 69 | ミカン | 果樹 | 病虫害(防除) | カイガラムシがたくさんついている。完全になくすには、どうしたらよいか。 | 小さい木なら、ブラシでこすって落とす。できないようなら、冬に石灰硫黄合剤か機械油乳剤を散布する。又、夏期には殺虫剤の散布で防ぐようにする。 |
| 70 | モモ | 果樹 | 病虫害(防除) | 縮葉病の防除 | 薬剤を散布する。 石灰硫黄合剤(7倍)を発芽前に散布 キノドー水和剤(500~800倍)を発芽前開花直前に ベフラン液剤(250~500倍)を休眠期に |
| 71 | モモ | 果樹 | 病虫害(防除) | 昨年、葉が縮れて風船状になり、大被害を受けた。消毒したいが、今(3月)でも良いか。 | 暖冬で葉が早めに動き出し、時期としては少し遅く、効果あるか不明だが、とりあえず直ぐに薬剤散布した方がよい。 |
| 72 | モモ | 果樹 | 植え方 | 開花中だが、移植は今(3月)でも良いか。 | モモの移植は、秋落葉してからが良い。(休眠中) |
| 73 | ユズ | 果樹 | 診断 | 木の先端の方が葉が落ちてきたがどうしてか。 | 先端だけとすると原因は色々考えられる。1. 幹に虫が入っている。2. 根が病気に犯された。まず、枯れた部分を切り落として、様子を見る。又、根を一部掘り起こしてみる。 |
| 74 | ユズ | 果樹 | 剪定 | 剪定はいつするのか。 | 冬に切り戻し剪定をする。隔年結果するので、たくさん成った年の冬に行なうと良い。通常は間引き剪定する。 |
| 75 | ユズ | 果樹 | 診断 | 新梢の先が黄色くなり、縮れてくるので適当に剪定している。又葉が時折黄色くなって落ちる。植えて3~4年になるが、1年目は10個位実がついたが今年花も咲かない。 | 1. 新梢先の若葉が黄緑になり縮むのは、アブラムシ又エカキムシ。 2. 古い葉が黄化して落ちるのは生理落葉で心配はない。 3. 開花が少ないのは樹勢が一段落しないため。又、剪定が問題。徒長枝や間引き剪定は良いが、枝先を常時剪定するのは花芽を摘んでしまう恐れあり。剪定は3月。 |

| | | | | | |
|----|-------|----|---------|---|---|
| 76 | ユズ | 果樹 | 病虫害(防除) | 果実がすすけている。新芽先の葉が裏に巻いて、白い綿様のものがついている。 | <p>1. 果実がすすけているのはすす病。カイガラムシが発生し、分泌物からすす病になった。適切な剪定をして日当たりをよくすること。年1回(5月下~6月上旬)カイガラムシが産卵孵化した時、防除(スミチオン乳剤など)する。果実にススが見え始めたらベンレート水和剤を散布する。剪定は3月に枝の間引きを主にする。</p> <p>2. 新芽につくアブラムシで葉が巻葉する。早めに防除を。</p> <p>3. 白い綿様のものはアオバハゴロモの保護物。夏の発生時に防除を。</p> |
| 77 | ユズ | 果樹 | 病虫害(防除) | 葉が黄ばんで落ちてしまうが、病気か。 | 病斑がでていないなら、木が弱ってきて寒さのために落葉したと思われる。石灰硫黄合剤の散布をすぐ行うこと。樹勢が弱く落葉するような状況では、石灰硫黄合剤等の散布はしない方がよい。 |
| 78 | ユズ | 果樹 | 診断 | 病気らしいものがついた。防除法は。 | 被害枝を切り落とす。その後、殺虫剤と殺菌剤を混ぜて散布しておく。以後は5~8月頃まで、月1~2回殺虫剤と殺菌剤を混ぜて散布すれば、ある程度防げます。 |
| 79 | ユスラウメ | 果樹 | 診断 | 実が初期に落ちてしまい、大きくなる。 | 生理的な落果と思われる。受精が行なわれなかったか、樹勢が良すぎたか悪かったかによる。肥料にリン酸分のもを与えるとよい。 |
| 80 | ユスラウメ | 果樹 | その他 | 花が咲くが実がならない。日当たりは良く、生育状態も良い。 | 受粉時に雨が多かったり、極端に乾燥したりするとよくない。また樹勢が強すぎると実付きが悪くなる。枝透かしをして、10月に堆肥を撒き、2月にリン酸、カリ肥料を与える。 |
| 81 | リンゴ | 果樹 | 剪定 | 花芽がつかない | 短果枝を多く持つよう、枝を下にしぼり横開きになるように剪定する。肥料はカリの多いものを施す。 |
| 82 | リンゴ | 果樹 | 診断 | 鉢植えにピンポン球位の美味しいリンゴが出来る。だんだん実つきが悪くなってきた。 | <p>1. ピンポン球位ならヒメリンゴと思われる。</p> <p>2. 実つきが悪くなる原因は根詰まりと、剪定の仕方。日当りの良い充実した枝を残すようにする。</p> <p>3. むやみに剪定するのは良くない。</p> |